

街の元気 ● みんなの元気を応援します ●

VIVA city

ビバ
シティ

公益社団法人
石川県柔道整復師会

石整広報 115

VOL.
29

2022
July

特集 柔道整復師③

医療人としての「学び」を続ける

(公社)石川県柔道整復師会旗争奪少年柔道大会

気多大社と入らずの森

[柔道整復師倫理綱領]

国民医療の一端として柔道整復術は、国民大衆に広く受け入れられ、民俗医学として伝承してきたところであるが、限らない未来へ連綿として更に継承発展すべく、倫理綱領を定めるものとする。

ここに柔道整復師は、その名誉を重んじ、倫理綱領の崇高な理念と、目的達成に全力を傾注することを誓うものである。

- 1、柔道整復師の職務に誇りと責任をもち、仁慈の心を以て人類への奉仕に生涯を貫く。
- 2、日本古来の柔道精神を涵養し、国民の規範となるべく人格の陶冶に努める。
- 3、相互に尊敬と協力を努め、分をわきまえ法を守り、業務を遂行する。
- 4、学問を尊重し技術の向上に努めると共に、患者に対して常に真摯な態度を以て接する。
- 5、業務上知りえた秘密を厳守すると共に、人種、信条、性別、社会的地位などにかかわらず患者の回復に全力を尽くす。

街の元気 ● みんなの元気を応援します

VIVA ビバ
シティ city

公益社団法人
石川県柔道整復師会

石整広報115

VOL.
29

2022
July

C O N T E N T S

1 巻頭言

今こそ継往開来の精神で 堂本 義邦

2 第47回定時総会を開催

5 喜びの受賞者

7 特集 柔道整復師③

医療人としての「学び」を続ける

①学術講演会・文化講演会

②会員学術研究発表会

③(公社)日本柔道整復師会 第42回北信越学術大会富山大会

16 新・体の常識

17 (公社)石川県柔道整復師会旗争奪少年柔道大会

19 サポート接骨石川(SSJ)活動報告

①加賀温泉郷マラソン2022

②第71回金沢百万石まつり

21 柔整会館を改修

23 顧問弁護士退任にあたり 弁護士 西 徹夫

24 第28回石川県柔道整復師協同組合通常総会を開催

25 secret spot 気多大社

27 トピックス

巻頭言

かんとうげん

今こそ継往開来の精神で

コロナ禍での学びを未来を切り開く糧に

(公社)石川県柔道整復師会広報誌「V i v a C i t y」をご愛読の皆様には、日頃より本会の活動に対しご理解ご支援を賜り深く感謝申し上げます。

新型コロナ発生から2年以上が経ちましたが、いまだ終息は見通せず、会員の皆様には療養費の取り扱いの変化や来院患者数の減少など非常に厳しい中、日々の施術に大変苦労されていることと思います。柔道整復療養費検討委員会では、課題と方向性について議論がなされているところです。この状況で、今私たちが大切にすべきことは、感染対策を万全にし、これまで築き上げてきた患者様との信頼関係に応えられるように鋭意努力することです。

さて、蔓延防止等重点措置も解除され、ようやく先が見えるようになってきましたが、以前は当たり前だった、顔を合わせて笑顔で笑い合うこと、食事を共にしてお酒を飲み本音を語り合うことが簡単ではありません。それでも生活は出来ますから、お互いに意識し合わなければ相手とのつながりは簡単に薄れてしまいます。無意識のうちに他者に無関心になり、ともすれば負の感情を抱きやすくなってしまいます。コロナ前の状態には戻ることはできないと思われませんが、この2年で学んだこともあるはずです。一番大切なことは心の安寧・不安の払拭ではないかと感じています。お互いを信じる気持ちと顔の見える連携・意思疎通があれば相談等もしやすく支援・協力も円滑に行うことができます。

本会ではこの2年間中止していた会旗争奪少年柔道大会を無観客で団体戦のみで開催し、

■堂本 義邦

どうもとよしくに
(公社)石川県柔道整復師会 副会長

【プロフィール】

平成11年より理事を務めその間に、能登支部長、経理部長、総務部長を歴任。
平成27年4月に副会長に就任する。



関係者にはYouTubeでのライブ配信で観戦して頂きました。文化講演会、会員研究発表は参加人数を抑えるためにwebとのハイブリッド開催とし、マラソン大会等のボランティア活動も少人数で救護活動のみで再開させて頂きました。各事業とも万全な感染防止のため運営面を工夫して、そのノウハウは本会が実施する上記以外の事業活動でも生かされています。

感染者数が未だ終わりの見えない状況ですが、事業等は止めるわけにはいきません。今こそ先人からの知恵を受け継ぎ、発展させながら将来を切り開く「継往開来」の精神で、学の研鑽、技術の向上、意識改革に精進していかなければなりません。自身の心を豊かにすることを意識し、困難な状況を乗り越えて地域への貢献の一助となる事業を展開し、進めたいと思います。

今後もさらなる結束力で団結し、会員の皆様には益々のご支援、ご協力を賜り、当会の繁栄にご尽力くださいますようお願い申し上げます。

第47回

定時総会を開催

～信頼を高めて厳しい環境を乗り越えよう～

令和4年5月15日(日)、石川県地場産業振興センター 大ホールにて第47回定時総会が開催されました。

出席者と書面決議書をもって議決行使

今年に入り、石川県内の新型コロナウイルス感染者数はやや減少傾向となっていました。5月の連休後に若い世代を中心に感染者が増加。今年の総会も前年と同様、感染拡大防止の観点から規模を縮小し、出席者と書面決議書をもって議決行使という対応をとりました。

開催に先立ち、物故会員、家族への黙祷が捧げられ、ニッ谷剛彦副会長が開会を宣言。続くあいさつの中で嶋谷清会長は、平素より本会の事業運営に理解と協力を頂いていることへの感謝を述べ、近年の会員数の減少や接骨院への来院患者の減少、柔道整復師専門学校の閉校など、柔道整復師を取り巻く環境が厳しさを増していることを訴えました。「このように問題が山積する中で、会員の皆さんが安心して業務が出来る環境の構築と、安心安全な施術を提供し患者さんからの信頼を高めていくことができるように皆様とともに努めていきたい」との決意を表明しました。

また嶋谷会長は、3月31日を以



会員の皆さんが安心して業務に取り組める環境の構築に努めたいと決意を述べる嶋谷会長。

第47回 定時総会

午前11時00分
開会

総会員数 / 304名
出席者数 / 95名
委任者数 / 136名
欠席者数 / 73名

議長 ■ 坂井 秀一 会員 (金沢南支部)
副議長 ■ 高出 伸也 会員 (金沢南支部)
議事録作成人 ■ 山田 誠 会員 (能登支部)
議事録署名人 ■ 嶋谷 清 会長
坂田 浩之 会員 (金沢北支部)
河村 三紀 会員 (金沢南支部)

て本会顧問弁護士・監事を退任された西徹夫先生の長きにわたるご尽力に感謝と敬意を込めて、「より良い公益社団を目指して皆で力を合わせて進んでいくことが西徹夫先生への恩返しだと思います。34年間、多くのご助言、ご指導を賜りありがとうございました」と述べました。

続いて議長に坂井秀一会員、副議長に高出伸也会員が選任され、審議に入りました。

坂井議長(左)、高出副議長により議事が進行された。



会場が密にならないよう対策を講じたうえで開催となった。



1. 議題(審議事項)

第1号議案 令和3年度事業実施報告に関する件

担当/西川 典孝総務部長

第2号議案 令和3年度収支決算報告並びに
監査報告に関する件

担当/津田 佳之経理部長

監査報告/山下 純二監事

第3号議案 その他

2. 報告事項

①令和4年度事業計画に関する件

担当/西川 典孝総務部長

②令和4年度予算に関する件

担当/津田 佳之経理部長

③その他

会員から提出された質問事項について西雅哉
弁護士より説明がなされ、後日臨時総会を開催
し質疑応答と審議をすることとなりました。

以上のすべての審議が終了し、議長、副議長
は退席となりました。



西川総務部長による
議案説明。



提出された質問について
説明する西顧問弁護士。

3. 監事欠員のための選挙

担当/宇野 幸治選挙管理委員長

三国 政樹選挙管理副委員長

西徹夫弁護士が監事(会員外)を退任されたた
め、監事欠員の選挙が行われました。大徳勇会
員1名の立候補があり、選任決議され、宇野幸

治選挙管理委員長よ
り報告されました。

最後に、堂本義邦
副会長の閉会の辞で
総会は終了し、その
後、新入会員と北信
越学会富山大会の発

表者、今年度から事務局長に就任した酒井春味
局長の紹介とあいさつがありました。

また、長きにわたり本会の顧問弁護士・監事
として大変なご尽力を頂いた西徹夫先生への感
謝状贈呈式が行われ、西先生からごあいさつが
ありました(23ページにごあいさつを掲載)。



新しく監事に選任された
大徳勇会員。



退任された西弁護士に感謝の花束と拍手が贈られた。



北信越学会で
本会代表として
発表を行う
磯松会員(左)
と窪田会員。

酒井春味新事務局長。



昨年度の新入会員3名が紹
介された(写真は当日出席
の赤塚大輔会員)。

石川県柔道接骨師連盟総会

委員総数／ 304名 出席者数／ 87名
委任者数／ 141名 欠席者数／ 76名

議長 ■ 坂井 秀一委員(金沢南支部)
副議長 ■ 高出 伸也委員(金沢南支部)

本会の総会に先立ち、同会場にて9時30分より石川県柔道接骨師連盟総会が開催されました。

二ツ谷剛彦副委員長の開会の辞に続いて嶋谷清委員長があいさつに立ち、令和3年10月に柔整会館で行われた佐々木紀氏、西田昭二氏、

小森卓郎氏との対談をwebで配信し、3氏より喜びの言葉を頂いたことを報告。また3月に行われた石川県知事選において、馳浩氏が見事当選となったことに対し感謝を伝えました。

続いて坂井秀一委員が議長に選任され、審議に入りました。

【議事】

第1号議案 令和3年度事業実施報告

第2号議案 令和3年度収支決算報告並びに
監査報告

以上の議事が滞りなく決議され、堂本義邦委員長により閉会の宣言がなされました。

表彰状授与式

定時総会開会直前の午前11時から、本会の発展に功績のあった会員を称えて各種表彰者の名前が読み上げられ表彰状が贈られました。

その後、石川県知事表彰の授与式が行われ、3名の会員がご臨席頂いた馳浩知事からお祝いの言葉を賜わり、表彰状を受け取りました。

また受賞者を代表して木山隆久会員が謝辞を述べ、これからも「仁慈の心」を大切に地域の皆様方のお役に立てるように励んでいきたいと誓いました。

馳浩知事から受賞者への祝辞を賜るとともに、本会の取り組みに対する感謝の言葉を頂いた。



コロナ禍のさなか、県民の健康・保健衛生のためにご尽力頂いていることに感謝いたします。ウイズコロナの下で、感染症対策と経済のV字回復を両立させていかなければなりません。皆様にもご理解を頂きながら、さらなるご協力をお願いします。



馳知事と医療功労者表彰を受賞した皆さん(左から木藤会員、馳知事、木山会員、真酒谷会員)。

喜びの受賞者

施術を通して地域医療に貢献のあった3名の会員に
石川県知事より医療功労者県知事表彰が贈られました。

「感謝」と「仁慈の心」を忘れずに

この度、第47回定時総会の席上において名誉ある医療功労者知事表彰を馳浩石川県知事より賜りましたことは、身に余る光栄と厚く御礼申し上げます。

そして嶋谷清(公社)石川県柔道整復師会会長はじめ役員、会員、諸先輩方々のご指導、ご支援のおかげと心より感謝申し上げます。

思い起こすと、柔道をはじめとする趣味のスポーツを通じて身体の仕組みを知りたく、柔道整復師を目指して平成元年に本会に入会、平成3年に開業させて頂き31年が過ぎました。この間に多くの患者さんとの出会い、学びがありました。骨折、脱臼、捻挫、打撲、挫傷等が業務範囲ですが、時には放散痛など多様な症状を訴える患者さんを見極め、必要な時は専門医を紹介しご教授を頂きました。

また、ボランティア活動では東日本大震災被

災地の避難所での医療救護ケア活動に柔道整復師として参加したこと、能登和倉万葉の里マラソンをはじめ多くのマラソン大会でのケア活動は貴重な体験となりました。



木山 隆久

日々の施術においては、泉下の恩人である木嶋光仁先生と木山時雨先生には語り尽くせぬほどのご教授と御恩を頂き忘れることはありません。

最後に、昨今の私たちを取り巻く環境は厳しい情勢ではありますが、これからも「仁慈の心」を大切に地域の皆様方に役立つように励んでまいります。

受賞おめでとうございます！

定時総会にて、令和3年度表彰者の皆さんに表彰状が授与されました。



医療功労者表彰

木山 隆久・木藤 正幸
真酒谷 清



永年会員表彰

坂下 文一・森田 淳
西 敏男・片田 道夫
木谷 正信・柳澤 昌孝
(会員歴25年以上)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、表彰状授与式は医療功労者のみ実施いたしました。

患者さんとの触れ合いの中で 学び、教えられ

この度、第47回定時総会の席上において馳浩石川県知事より医療功労者県知事表彰を賜り、誠にありがとうございます。心から感謝しております。

これも役員の皆様、諸先輩方や会員の皆様、事務局の皆様のご指導ご支援の賜物と深く感謝を申し上げます。

振り返れば、平成3年11月に開院し患者さんと触れ合う中で、施術についてはもちろん日常生活のことや子育てのことまで、多くのこと

を教えて頂きました。これからもたくさん
のことを学びながら、患者さんにはもちろん地域の皆さんのお役に立てるよう、報恩謝徳の精神を忘れずに柔道整復業務に邁進していきたいと思っています。

今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。



木藤 正幸

「ご縁」と「ご恩」で 支えて頂いた皆さまに感謝

この度、第47回定時総会において医療功労者県知事表彰という身に余る光栄を賜り、心より御礼申し上げます。

この受賞もひとえに、嶋谷会長をはじめ、役員理事、恩師の先生、諸先輩方、同志の皆さん、そして家族や地域の方々に支えられての賜物と、真に感謝しかありません。

また本年度からは、3月に就任された馳浩新知事からの受賞となり、なお一層の喜びと、生涯の大きな記念となりました。

振り返れば、中学、高校と野球に明け暮れ、ケガでお世話になった先生に尊敬と憧れを抱き、18歳の時にこの道に進む決心をいたしました。あれから34年が経ち、今までの様々な人生の転機に、恩師の先生をはじめ多くの方からの「ご縁」と「ご恩」があったこと、改めて

強く感じています。

未熟故に悩み、多くの失敗もしてまいりましたが、その時に頂いた導きの一言一句が今でも心に強く残っています。

人として、柔道整復師として、まだまだ未熟であり、今後も失敗を重ねてゆくかもしれません。しかし、この受賞を機になお一層気持ちを引き締め、これまで多くの皆さまから頂いた「ご恩」を忘れず、そしてこれから「ご縁」のある方々に、健康で幸せな笑顔になって頂けるよう努力をしていきたいと思っています。

皆さまには、今後ともご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



真酒谷 清

医療人としての 「学び」を続ける

柔道整復師会ではさまざまなチャネルを活用して会員の資質向上を図っています。専門知識・施療技術を深く掘り下げることがもとより、講演会などとおして業務の枠を超えた分野にまで知識を広げることで信頼される医療人として成長できるよう会員を手助けする——石川県柔道整復師会は学術団体としての顔も持っています。

〔特集〕
柔道整復師③

1 学術講演会・文化講演会

一流講師陣の知見に触れるチャンス！

柔道整復師倫理綱領の一つに、「学問を尊重し技術の向上に努めるとともに、患者に対して常に真摯な態度と誠意を以て接する」があります。また、本会学術部の指針には「会員の資質・学術・技能向上のため、また会員並びに県民の生涯学習の場として」との文言があります。本会ではこれらの指針に沿って、学術講演会と文化講演会を毎年開催、「本会は学術団体であるべき」との認識のもと多くの会員が参加しています。

学術講演会

医療分野の知識に広さと高さを

学術講演会には、先進医療のエキスパートであり各分野で活躍されている医科大学教授や各大学病院の医師、開業医の先生などを講師にお招きしています。医療現場の最前線に立つ方々の講演をとおして各医療分野の知識を高めることは、医師会と良好な関係を保ち連携をスムーズにするうえでも重要です。

実際には、柔道整復師の業務範囲に入らない傷病をテーマに学習する講演会もあります。し

かし、日々の施術では業務範囲を超えた内臓反射性(内臓疾患由来)の痛みで来院される患者さんもあり、これを見逃せば「重大な落とし穴」になります。あらゆる分野の医療を学習することで得た知識の広さ・高さこそが、そのような患者さんへの対応に役立ち、医師へ紹介することで正しい治療に導くことができます。

患者さんからの信頼を高め医師の方々とも胸を張って連携していくためには、学び続けることが必要だと考えます。



平成19年の第10回文化講演会。ムーブメントを捉えた講師の選定が関心呼び、一般からの参加も多かった。

文化講演会

アスリートや一流の指導者から学ぶ

文化講演会では、一流の指導者やアスリート、元オリンピック選手、トレーナーなど、主にスポーツの分野で活躍されている方々を中心に講演をして頂きます。

我々の施術所には、柔道をはじめいろいろなスポーツで優秀な成績を取めている小・中学生、高校生、社会人選手が多く来院します。ケガに苦しむ選手たちに対して施術はもちろん、ケガを改善するためのストレッチ法やトレーニング法、スポーツに取り組む姿勢などの精神面までアドバイスをすることが多々あります。ゆえに講演会で、挫折からの克服法や成功までの体験談などを一流の指導者やトップアスリートから直接聞くことは貴重な機会であり、来院されるスポーツ選手等に対応していくうえで大きな糧になると考えています。

また、広く県民の学びの場として活用して頂くため一般にも公開しています。



本会には、試合に帯同してサポートを行うなどスポーツの現場で活動する会員も多く、選手をはじめ指導者や父兄からの厚い信頼を獲得しています。また、各柔道大会やマラソン大会での救護、近年では世界柔道ポルトガル選手団救護やキンボールの全国大会救護など、各自自治体からの依頼で実施する事業活動も多くなっています。地域の方々に愛される「信頼と安心のあなたの町の接骨院」であり続けるためにも、講演会等をとおしてさらなる資質の向上に努め、前進してまいります。

●これまで開催された講演会の履歴を
本会HPからご覧いただけます。

URL <https://jyuusei-ishikawa.jp/ssi-koukaikouennkai.html>



Report Web文化講演会

夢叶うまで挑戦

講師／東京オリンピック女子レスリング
金メダリスト川井梨紗子・友香子姉妹の母
川井 初江氏



令和3年12月12日、石川県地場産業振興センターにおいて開催された文化講演会についてご紹介します。今回は、文化講演会としては初の試みとなるWEBによるライブ配信とし、当日から12月19日まで一般にも公開されました。

冒頭、講師の川井氏は演題の「夢叶うまで挑戦」の意味について説明されました。スポーツの世界では勝つ選手がいて、その反対に負ける選手がいる。選手一人ひとりに伝えたいのは

「諦めなければ夢は絶対叶う」ではなく、「夢が叶った人は決して諦めなかったよ」ということです。川井氏の娘二人も様々な苦難に決して諦めずに立ち向かい、姉妹揃って金メダリストになりました。代表選考から金メダル獲得までの二人と、周りでサポートする人たちのエピソードを語られました。

姉・梨紗子選手には同じ階級に伊調馨選手という強力なライバルがいて、2018年の全日本選手権では持ち味の「攻めのレスリング」をさせてもらえず敗れるという悔しい結果になってしまいました。自信を失い「この辛い状態から逃げ出したい、オリンピックは諦めたい」と言われた時は、母として「あなたが無理と言うならそれでもいい、ただどんな小さな試合でもいいから梨紗子らしい攻める試合が見たい」と伝えました。また、本人以上に悔しがり必死にサポートしてくれる監督、コーチ、所属会社の方々の姿が、梨紗子選手に「諦めずにもう一度挑戦しよう！」という決意をさせたと言います。

一方、全日本選手権、全日本選抜選手権と国内での厳しい試合を勝ちぬいた妹・友香子選手も、遡る2016年に肩を完全脱臼するという大ケガを負っています。たくさんの診断を受けた中で最も信頼できるドクターから「騙し騙しやっても肩関節がすぐに外れる状態だ。手術をしないと選手生命にかかわる」と告げられました。代表に決定していた世界ジュニア選手権出場を諦めたくない友香子選手でしたが、手術に踏み切って東京オリンピックを目指すことを選択。手術後、装具がとれるとチューブを使ったりハビリをコツコツと諦めることなく続け、信頼できるコーチとの出会いもあって再びケガのしにくい強靱な体を手に入れることができました。

東京オリンピック予選、そして本番へ

友香子選手は東京オリンピック前年、代表選考を兼ねた世界選手権で2回戦で負けてしまいました。状況次第で敗者復活戦に進める可能性もありましたが、「もう絶対に敗者復活戦は無い」と諦めてしまい、2時間にわたる母の励ましにも「頑張る」という言葉を口にすることができない状態でした。しかし奇跡的に敗者復活戦に進めることになると、試合前日の夜に電話で「お母さんが私に言い聞かせてくれたことを文



講演の様子は web で配信された。



講演後は会場から、「母親とコーチの切り替えはどのように？」「子どもたちがレスリング好きになる指導とは？」などの質問が投げかけられていた。

章にしてほしい」と頼まれます。徹夜してまとめた文章を試合当日の朝渡すことができ、友香子選手は敗者復活戦から勝ち上がって銅メダルを獲得、東京オリンピック代表の座を勝ち取ることができました。

そして、オリンピック本番では姉の梨紗子選手が極度のプレッシャーからスランプに陥ってしまいました。好調だった時のビデオを見てイメージを作ろうとしますが、うまくいきません。そんな時、妹のコーチである赤石氏より「前にできていたことが今日できないと思っただけ、できるところを見つけて今日もできると思いなさい」と指導を受け、そこからスランプを脱出することができました。

最後にコロナ禍の中で東京オリンピックが開催されたことについて、たくさんの方々のお陰と感謝を述べられた川井氏。二人の娘は今回の東京オリンピックの経験から、「目の前にある難題に丁寧に対処し結果を出していくことで次のパリオリンピックにつながれば」と言っているとも。いろいろな人に支えてもらいながら自分たちも教え子も選手を続けていくのでまた、応援して頂けたら嬉しいですと講演を締めくくられました。

2 会員学術研究発表会

日々の施術をとおして得た知識や情報を共有し高めあうことを目的に、柔道整復会では会員学術研究発表会を開催しています。令和3年度の発表会は令和4年2月13日午前10時から柔整会館にて行われ、4名の会員が一年間の研鑽・努力の成果を発表しました。コロナ禍ということでYouTubeライブ配信での開催となりましたが、多くの会員が視聴しました。



T M J — 顎関節前方脱臼 ～ 整復までの種々変化法～

金沢北支部 磯松 俊也 会員

【目的】

顎関節は会話発音・咀嚼など身体の中で最もよく使用されている関節の一つであり、極度の開口・固形物の咀嚼などによって比較的容易に脱臼を起こし、我々の日常の施術においても遭遇する機会の多い損傷である。今回、成書通りの整復法で十分な整復位を得られなかった数例に対し、わずかな施行変化を加えたことにより良好な結果を得る経験ができたので、若干の考察を加えて報告する。

【方法】

<ヒポクラテス法からの変化>

1. 示指・中指・薬指の3指を持ち替えることにより、拇指で下顎を持ち上げながら、より繊細なタッチでの持続押圧と関節の微調整が可能になる(森法)。
2. ①整復手に他手を重ね押圧→さらに厚巻のタオルを噛ませる。
②さらに患者自身の手を咬えさせて強力な持続牽引法とし、重ね押圧を加える。

<口外法からの変化>

1. 口外法→ボルカース法へと施行変化。

また今回、恩師(整形外科医・医学博士 大場昭先生)より直接指導された簡易整復方法を紹介する。

- ①一旦、患者に出来るだけ大きく開口を指示。
- ②術者下顎を後下方に軽くわずかに押し込み、ゆっくり静かに口を閉じさせる。

【症例】

症例1 ■ 23歳女性 右顎関節脱臼

固形物を噛んで受傷。ヒポクラテス法に失敗するが、一旦開口を強調する簡易整復方法にて整復する。再脱臼・ADL支障なし。

症例2 ■ 39歳男性 両側顎関節脱臼(反復性)

欠伸にて受傷。両側同時整復法を試みるも失敗、筋緊張にて整復難航。片方ずつ丁寧に変化法を持続的に加え無事整復位を得た。

症例3 ■ 41歳男性 右顎関節脱臼(反復性)

欠伸にて受傷。ヒポクラテス法を試みるも後方送り込み時に抵抗作用を感じて失敗、何気に顎を引き付け反対側下顎骨より側方送り込みを加えたところ、脱臼位の骨頭が移動し自家筋力にて自力整復された。

【考察】

顎関節は関節窩前方に隆起する関節結節・

円板肥厚部によって整復路が挟まれ阻まれるため、ヒポクラテス法では十分な下方牽引で骨頭を引き下げ、関節結節を上手く乗り越えさせるテクニックが必要である。

最大開口にて脱臼位を強調することは、関節円板が前方に引かれ、前関節囊に対して張力が増強され骨頭を逆に抑え込む圧迫力が働くこととなる。

臼後三角部を下方に押し込み患者に自ら閉口させることで、関節囊による自張力(牽引力)が増強され、わずかな力(刺激)で軟骨面を滑って移動し解剖学的位置に戻っていく、以後は円板に適合し引き込まれる様に自然整復される。

筋緊張等により整復困難であった症例にあつては、簡易整復方法の他に種々変化法を利用している。

症例2の両側脱臼では厚巻のタオルを当てることで牽引力を強化、片側ずつ丁寧に整復を施行、症例3では反対側下顎骨に側方送り

込み押圧を加えたところ、自家筋力によって自力整復された。

【結語】

一つの整復方法に精通することは必要なことだと思うが、同じ方法に固執して何回も繰り返すことは関節構造を痛めつけるとともに患者に苦痛を与え、術者に対する不信感にもつながりかねない。

柔道でいう「技の連絡変化」の様に、少なくとも3手位先までは次の技を用意して臨み、状況に応じて冷静かつ的確に対応する心構えが最も大切である。



顎関節の脱臼について、施術の中で得た知見を実技を交えながら説明する磯松会員。



側面衝突：自己施術から得たもの

加賀支部 高熊 二夫会員

【はじめに】

8年前に「側面衝突され、自己施術をした自身の症例」の対応とともに、この時に得た発想と施術方法を報告する。

【側面衝突事故の状況】

1500ccの2ドア車を運転中、青信号で交差点を侵入した際、右方向から交差点に進んできた軽自動車に衝突された。右側頭部・右肩外側を運転席側ガラスに打ち付け、車は3メートル移動して停止する。

【自覚症状と他覚所見】

事故当時：意識明瞭、頭部、頸部、肩関節に疼痛運動痛は見られず。

2日目起床時：頸部運動痛・屈伸回旋制限・左上腕背側シビレ感・左右握力低下。

2日目午後：医師によるX P検査などで「頸部捻挫」と診断。自身の見解として生理的湾曲の消失、頸椎部右凸側弯、第四・第五変形、右胸鎖関節部の鎖骨前方凸偏位を自覚。

【自己施術】

2日目午後、病院受診直後から開始する。

1. 右胸鎖関節：鎖骨内側端の前方凸偏位の解消に対して、右手の手指を柱の角にかけ、

上肢を鎖骨の延長方向へ伸ばし、体幹を左右へ傾ける。この自己施術により、偏位が解消し右胸鎖乳突筋の筋緊張もほぼ緩解した。

2. 頸部伸長法：支えるポイントとして、①顎の下を左右の拳で軽く握り顎の下にあて、これを支点として頸部を屈曲し左右に軽度側屈する ②左右の後頭骨乳様突起を両手の第2・3指の指先で支え、体幹を伸ばすようにしながら頸部を伸展し頭部を前後左右にわずかに揺らす。

この自己施術により、頸部の緊張感と運動制限はほぼ解消した。

3. 隆椎・第1胸椎棘突起の右方偏位が軸に対して右腕を水平挙上し左3・4指の指先で棘突起右側を左方向へ圧迫頸部を右回旋する。この自己施術によりシビレ感は軽快した。

4. 第1胸椎・第4胸椎の棘突起が右方偏位に対して、来院A氏に調整を依頼する。腹臥位をとり呼吸を止めA氏の指先を偏位し

ている棘突起右下方にあて、右こぶしで左中指を軽く叩打を偏位している2箇所を実施する。これにより、偏位が解消する。

5. 先の経験から発想の転換が起き、「頸牽引」「頭部を牽引する」「頸部をストレッチする」という考えからソフトな「頭部の重さを支える頸部伸長法」へ発想転換することで、頸部・肩甲带上部の筋緊張・硬結・左右差などが緩解あるいは解消した。

【まとめ】

受傷時、右側頭部と右肩外側部の打撲により右胸鎖関節、鎖骨内側端前方凸偏位、頸椎胸椎棘突起列の右方偏位、左上腕シビレ感に対して自己施術をした。

むち打ち損傷などへの応用を含め頸部運動痛、運動制限、上肢のシビレ感を訴える症例に対し、胸鎖関節部や胸椎棘突起列の異常の解消・頭部の重さを支える頸部伸長法、この様な施術方法が有効と思われた。



スポーツ大会の救護活動における「スパインボード」の必要性・重要性

能登支部 赤池 敬順 会員

【はじめに】

昨今の大きなスポーツ大会では、負傷者の緊急搬送に「スパインボード」が使用されている。スパインボードとは、頭部・頸部損傷の負傷者を搬送するための道具であり、全身をボードに固定して、安全に運び出すことができる。

【救護活動の定義】

柔道整復師による救護の定義とは、一般的には「負傷者等を保護し看護・手当て」することである。(公社)日本柔道整復師会(以下、

日整)の定義では「医療機関・専門医に搬送するまでの補助をする」ことであり、医療機関への安全で確実な搬送ができる技術と知識が必要とされる。

さら日整では「医師の医療補助を担う救護補助員として試合会場で発生したアクシデントに迅速に対応することであり、具体的には主としてスパインボードを使った搬送、マットサイド・救護室での医師の診療の補助、試合会場における血液等で汚れた畳の清拭等である」としている。

【スパインボードが必要となるケガの特徴】

一般的に搬送を必要とされる外傷として脊椎損傷の危険性がある負傷者は、従来の布製担架では、脊柱の安定が得られないためスパインボードによる搬送が望ましい。

【頸部損傷の受傷機転】

柔道競技は、投げられて背中をつくことで勝敗が決まり、それを防ぐために頭から突っ込む危険行為が見られるようになった。投げ技による危険な行為として故意に頭部を使用する「ヘッドディフェンス」、故意にブリッジの体勢で着地する「ブリッジ」、頭から畳に突っ込む「ダイビング(頭突っ込み)」などがある。これらはルールでは禁止行為であり、ケガ防止のため反則負けとなる。

ハインリッヒの法則によると、1件の重大な事故の背景には29件の軽微な事故があり、その背後には300件のヒヤリハットがあるとされている。危険を伴う救護の現場では常に「1件の重大な事故」を想定しての迅速な対

応、心構え・準備が必要だと思われる。

【結果】

脊椎損傷の場合、布製の担架では搬送すると脊柱が動いてしまい損傷を更に悪化させる恐れがある。選手の命を守り後遺症を最小限にするためにも、脊柱動揺制限に効果が有るスパインボードは有効である。

スポーツ大会で脊柱のケガに遭遇した時、ケガの専門家である私達柔道整復師がスパインボードの使い方が分からないのは問題だ。本会でも「赤十字救急法基礎(AED)講習会」の様に、定期的に「スパインボード講習会」を開催し、迅速な救護・搬送方法を学ぶ必要があると思われる。

【結論】

柔道整復師は医療従事者として、また「柔道大会救護、マラソン大会救護、サポート接骨・石川(SS I)活動、日本赤十字奉仕団活動」を行うためにも、本会に「スパインボード」の設置が、必要・重要だと思われる。



小児における足部外傷の原因と対策について ~少年柔道選手を対象にして~

金沢南支部 窪田 和樹 会員

【はじめに】

柔道整復業務の中で小児の足部外傷は、成長の過程を考慮し施術方法を選択していく中でも、デリケートに扱わなければならない。

本研究は、近年多発する小児の足部外傷の原因として運動能力の低下、関節可動域の減少等が関与していると考え、足関節の構造とトリートメントを含め若干の考察を加えて報告する。

【発生原因からの考察】

近年、小児の足部外傷(足関節捻挫)が多発傾向にあり、その原因の一つとして身体動作のぎこちなさや身体をうまくコントロールできないことなどが考えられる。

特に柔道選手にとって足趾機能の強化は競技力向上だけでなく障害予防の観点からも重要である。練習時および日常生活における草履サンダルの着用が、少年柔道選手の足圧分布(特に浮き趾)および足趾機能にどのような影響を及ぼすか検証した。

【足部外傷の考察】

日々の外傷施術の中で、若年者における足関節捻挫(新鮮外傷)の発生頻度が高く、足関節の形態上、腓骨下端と脛骨下端の状態(門構え)、外側部に負荷がかかりやすい(底屈内反)構造、その受傷の際に靭帯損傷を起こすほど距骨のムーブメントが大きく、X-Pやエコー検査、関節支帯に一致した圧痛所見等で距腿関節が亜脱臼状態になっているケースが多く、適切な靭帯修復のアプローチや固定法を施しても足関節の疼痛(愁訴的)や不安定感が残存するケースに遭遇し、改めて、初期治療での遠位脛腓関節のアライメント修復に努めた。

【足部外傷のトリートメント】

初見時の段階で、患者の訴えとして外側部の疼痛が著明であるが、必ず遠位脛腓関節の観察を行い、同時に健側と比べ足関節の外果内果横計幅の差異を観る手技アプローチとして、距骨の前外側方向への軽度なズレを戻すために牽引直圧法として、足関節底屈位、対牽引し舟底式に足関節背屈と同時に母指にて圧迫修復を行う。施術後、運動痛の軽減、運動制限の改善を測る。

脱臼修復に近い手技によってアライメントを修復したところ、疼痛の減少、自立歩行を可能とするケースが多くみられた。

【まとめ】

日常の施術や少年柔道指導の中で足部外傷が多発することに着目し、その原因と対策、及び足関節捻挫の施術方法を見直した。

小児における足関節の足底体重加圧域の後方荷重傾向を確認し、運動性を測り、その結果により、土踏まずの形成や足圧前方変位を改善する対策を行い、半年間経過観察した。

対策として草履式鼻緒サンダルを生活の中で使用することにより、後方に乗っていた体重が前方に移動しバランスを均等にとれる様になり、姿勢の保持や負担等の軽減がみられた。この結果により足関節の安定性が期待でき、外傷の発生や再発(いわゆる捻挫癖)を防ぐきっかけになることが考えられる。

当院では足関節捻挫の再発を防ぐために、初期の判断を重要視している。その原因の一つとして、脛腓関節のアライメント修復をしなかったために起きる伸筋支帯の緩みに着目した。それに対して脛腓関節をリポジションすることにより安定感が戻り、急性疼痛緩和、運動制限の軽減等の改善がみられた。

これらの対策と施術により目的達成と競技方向上に良好な結果を得られた。

●各発表は本会 HP 会員ページの「公認私的研究会」からご覧になれます。

URL <https://jyuusei-ishikawa.jp/member/kennyuu.html>



発表者の皆さんに表彰状と記念品が贈られた。(写真左から、磯松、窪田、高熊、赤池の各会員)。

6月19日(日)に開催される公益社団法人日本柔道整復師会北信越学会富山大会の発表者が選考され、本会からは会員研究発表者に窪田和樹会員が、会員実技発表者に磯松俊也会員が選ばれました。

3 (公社)日本柔道整復師会 第42回北信越学術大会富山大会

北信越各県から211名が参加

令和4年6月18日(土)・19日(日)、富山市のホテルグランテラス富山において、標記大会が開催され、18日には開会式と夕食会が、19日には基調講演、特別講演、会員研究発表、実技発表、ワークショップ(超音波観察装置)が行われました。

基調講演は(公社)日本柔道整復師会(以下、日整)副会長の三橋裕之先生による「伝統を守るそして時代に沿う」でした。続いて日整副会長の長尾淳彦先生が「匠の意義と超音波の必要性と認定」と題して日整学術教育部からの指針を説明しました。特別講演は学校法人木島学園北信越柔整専門学校校長の碓井貞成先生による「身近な物理療法の基本的知識と肩こり」で、オンラインにて行われました。

碓井先生は肩こりを本態性と症候性に分類し、「本態性肩こり」は不良姿勢と筋力低下が主な要因で頸部周囲にかかる負担が増大し筋の柔軟性を低下させて発生すると説明。これに対して「症候性肩こり」は神経症状を主訴として整形外科に来院されることが多いが、内科的なものが起因している危険性もあり肩こりの背景にある原因疾患を的確に観察する必要があると述べられました。

本態性肩こりでは、柔道整復師養成校カリキュラム改訂を反映した物理療法に則り、①電気療法 ②温熱療法 ③輻射熱療法 ④変換熱療法それぞれの項目にわたり、

原理・適応・禁忌について詳しく



説明されました。

なお、北信越各県から6席の会員発表があり、本県は2席の発表を行いました。

会員研究発表

「小児における足部外傷の原因と対策について」

窪田 和樹会員

近年多発する小児の足部外傷の原因として、運動能力の低下、関節可動域の減少などが関与していると考え、足関節の構造とトリートメントを含め若干の考察を加え発表しました。



会員実技発表

「TMJ-顎関節前方脱臼～整復迄の種々変化法～」

磯松 俊也会員

成書通りでは十分な整復位を得られなかった症例に対し、わずかな施行変化を加えたことで良好な結果を得られた整復法について考察を加え、実技発表しました。



窪田、磯松両会員の発表では、本会の西剛志学術部長が座長を務めた。

※詳細については学会誌抄録をご参照ください。

新体の常識

ちょっと前まで常識だったことが、常識でなくなっていた!なんてことも。今回は、すっかり顔の一部になってしまったマスクの新常識に迫ります。

「顔パンツ」という言葉をご存じでしょうか。「マスクを外して顔を人前にさらすのは恥ずかしい」という気持ちの例えで、コロナ禍が終わってもマスク着用を続けたいという人が増えているそうです。マスク生活の長期化で、ほかにもいろいろな問題が起きているようです。

問題1 口呼吸の増加

鼻で呼吸をすれば鼻毛や粘液などのフィルター作用が働きますが、マスクをしていると呼吸がしづらく口呼吸になりがちです。その結果、口から異物やウイルスなどを直接のどへ通してしまいます。また長期間口呼吸が中心になると、口が開きっぱなしになり筋力も衰えます。

- 対策
- ① マスク着用時は鼻呼吸を意識する
 - ② 感染症対策が必要ないときはマスクを外して鼻で呼吸する
 - ③ 日常的に口周りの筋肉を動かす(口を開く、閉じる、膨らませる、舌をべーっと出すなど)

問題2 肌荒れ

マスクとの摩擦、湿度変化によって肌荒れを訴える方が増えています。マスクの中は息により蒸れていますが、その水分が蒸発する際に肌の角質層から水分を奪うため、乾燥のリスクにさらされるのだとか。

- 対策
- ① 自分の顔に合ったサイズのマスクを選ぶ
 - ② 肌に優しい素材を選ぶ(最近は肌に優しい不織布も増えている)

いっまで続く?

長引くマスク生活 少しでも快適に

- ③ マスクを外した後は、洗顔やスキンケアで保湿をする

問題3 熱中症

高温多湿な環境下でのマスク着用は熱中症のリスクが高くなるため、特に暑い夏場は注意が必要です。

- 対策
- ① 屋外で人と十分な距離(2メートル以上)が確保できる場合はマスクをはずす
 - ② マスク着用時は強い負荷の作業や運動を避け、のどが渇いていなくてもこまめに水分補給を心がける
 - ③ 人との距離を十分にとれる場所でマスクを一時的にはずして休憩する

問題4 コミュニケーション障害

マスクを着用しての会話は、顔の下半分が隠れているために相手の表情が読み取りづらく、声を聞き取りにくい、こちらの感情も伝わりにくいという問題があります。

- 対策
- ① いつも以上にうなずきや相づち、身振り手振りのジェスチャーを多めにする
 - ② 聞き取りやすい速さではっきりしゃべる
 - ③ 感情が伝わりやすいトーンで話す
 - ④ 相手に自分の話が伝わっているか、アイコンタクトで確かめる

マスクは感染症対策に必要不可欠です。長期化するマスク生活を少しでも快適にするヒントになれば幸いです。

第35回(公社)石川県柔道整復師会旗争奪少年柔道大会

松任柔道スポーツ少年団が優勝!

11年ぶり

4度目の快挙

新型コロナウイルスの感染拡大により、昨年、一昨年と中止していた公益社団法人石川県柔道整復師会旗争奪少年柔道大会が令和4年5月8日(日)、3年ぶりに開催されました。晴天に恵まれた白山市松任総合運動公園啓武館で小学生たちは、待ち望んだ試合に臨みました。

■ 団体戦のみ、無観客で

残念ながら新型コロナウイルスの完全な終焉には程遠く、今現在も若年層を中心に感染拡大が続いているため、大会は規模を縮小して実施。個人戦は行わず各チーム5名の団体戦のみとし、父兄の応援もご遠慮頂き無観客試合として、YouTubeでのライブ配信で観戦をお願いしました。それでも3年ぶりとなる大会に県内各地より17チームの選手が参加し、会場には静かな熱気が漂いました。

開会式では嶋谷清会長が「今日参加できなかった友達の分も合わせて悔いのないよう、日頃の成果を十分に発揮して頑張



開会のあいさつを行う嶋谷会長。



【総成績】

- 優勝 松任柔道スポーツ少年団
- 2位 鶴来坂田道場
- 3位 全日本柔道少年団小松分団
- 3位 全日本柔道少年団七尾分団

11年ぶりの優勝を果たした松任柔道スポーツ少年団の皆さん。



チームのため、ここで負けるわけにいかない!

輪島柔道教室の兵庫選手が元気良く宣誓。



公益社団法人
第35回 石川県柔道整復師会旗争奪少年柔道大会

用善力精



いよいよ決勝戦!緊張が高まる。

ってください」とあいさつし、選手を代表して輪島柔道教室の兵庫歩選手が元気良く選手宣誓を行い熱戦の火蓋が切られました。

ベスト4には「松任柔道スポーツ少年団」「鶴来坂田道場」「全日本柔道少年団七尾分団」「全日本柔道少年団小松分団」が勝ち進み、決勝は2対1の僅かの差で「松任スポーツ少年団」が「鶴来坂田道場」に競り勝ち、11年ぶり4度目の優勝を飾りました。



両者、激しい技の掛け合い!

■ 感染予防対策を最大レベルに

今大会は無観客での開催に加えて、参加者には健康チェックシートの提出を義務付け、試合の時以外は練習中もマスクを着用、こまめな消毒に協力してもらい、さらに試合会場も随時消毒を行う



嶋谷会長も消毒作業に参加。

など、感染対策に最大限の配慮をしながら実施を実現することができました。

これも「柔道を通じて心身の健全な育成と少年柔道の振興に努める」との趣旨が理解され、石川県柔道連盟および白山市柔道協会役員、各柔道教室の指導者や保護者の方々、その他多くの方々の協力と支援があったからこそと感謝しております。

これからも公益社団法人として石川県柔道整備師会旗争奪少年柔道大会を素晴らしい大会にしたいと願っています。



個人表彰をされた皆さん
おめでとうございます!

【最優秀選手】

供村 裕志(松任柔道スポーツ少年団)

【優秀選手】

西川 歩夢(松任柔道スポーツ少年団)

山崎 康喜(鶴来坂田道場)

西出 雛乃(全日本柔道少年団小松分団)

竹中 優結(全日本柔道少年団七尾分団)

加賀温泉郷マラソン 2022

令和4年4月17日(日)、加賀市陸上競技場をスタートし片山津・山中・山代の3つの温泉郷を走り抜ける加賀温泉郷マラソンが開催され、フルマラソンの部と10キロのコースを走るショート部の部に全国から2,295名の選手が参加。快晴の加賀路を元気いっぱい駆け抜けました。

今年度も新型コロナウイルスの感染が落ち着いた状況を検討しながらの大会運営となり、参加ランナー全員に対して3日以内のPCR検査陰性の証明書が義務づけられるなど、厳重な注意と管理体制のもとでの開催となりました。

(公社)石川県柔道整復師会のサポート接骨石川・赤十字奉仕団の会員10名は、この大会の救護スタッフの一員として活動を実施。ゴール地点、コース途中の4か所に設置された救護所で、医師



まぶしい緑の中を走る選手たち。

医師や看護師、救命士の方々の対応から学ぶことも多かった。



会の先生方や看護師、消防の救命士の方々とともに、捻挫・挫傷・筋けいれん・歩行障害・機能障害・下肢のけいれんの所見のある出場選手たちへの対応に当たりました。

サポート終了の午後4時までには、ゴールと各エイド合わせて44名の選手が救護所を訪れストレッチの指導、テーピング、アイシング等の救護を行いました。このように各種医療団体の方々と連携を取りながらの救護活動は今回で2度目となりましたが、今後もこのような活動を通して、柔道整復師としてさらに良いサポート、救護活動が出来るよう知恵を出し合い継続していきたいと思ひます。



エイドステーションでは選手を迎える準備が進む。



本会からは10名の会員が参加した。





サポート接骨石川 (SSI) 活動②

第71回金沢百万石まつり

新型コロナウイルスの感染拡大による中止が続き、3年ぶりの開催となった第71回金沢百万石まつり。本会の赤十字奉仕団・サポート接骨石川 (SSI) では、令和4年6月4日 (土) に行われるメイン行事の「百万石踊り流し」と約40,000人の市民が参加する「百万石踊り流し」の救護活動に、日本赤十字社石川支部の要請を受けて参加しました。

百万石行列は加賀藩祖の前田利家公の金沢城入城を再現した絢爛豪華な歴史絵巻です。この行列の出発式が午後2時より金沢駅東広場の鼓門をバックに行われました。加賀とびによるまとい総ふりを皮切りに華麗な百万石音頭や勇壮な太鼓演奏、ほら貝のファンファーレで盛大に百万石行列がスタートします。先導隊、音楽パレードから始まる行列に沿道から約34万人の観客が声援を送りました。今年は前田利家公役を俳優の竹中直人さんが、お松の方役を女優の栗山千明さんが演じられました。

また午後6時より、金沢の夜を賑やかに彩る百万石踊り流しが行われ、参加した企業・文化団体など約100チームが、それぞれ揃いの鮮やかな衣装で踊りを披露していました。

当日は各専門の奉仕団やJRC部(青少年赤十

踊り流しが終了するまで沿道を巡回。

感染症対策のため本会は人数を絞って参加。



字)の高校生らがともに活動し、総員92名で急病者や負傷者の救護、救急車の進入路確保や誘導、迷子の保護などを行いました。

本会が石川県柔道整復師会赤十字奉仕団として活動を開始したのは平成22年です。12年間、赤十字と協働しながら活動してきた中で、日本赤十字社石川支部の組織としての迅速な対応の仕方はとても勉強になっています。

本会にとって金沢百万石まつりでの救護活動は10回目という節目の年でしたが、今回は感染症対策を考慮して最少人数での参加になりました。今後、さらに万全な救護体制をとれるよう、新型コロナウイルス感染の終息を切に願います。



巡回に出る前に注意事項を確認。

総勢92名が祭りの安全のため活動した。



Jusei Hall History

柔整会館を改修

時代に合せて バージョンアップしました

完成から42年間、大きく手を入れてこなかった柔整会館の改修工事が完了しました。建設に心血を注いだ先輩方の思いを受け継ぎつつ、新しい機能を盛り込んだ使い勝手の良い建物へと生まれ変わった会館をご紹介します。

竣工から40年以上を経て

現在の柔整会館は昭和55年4月に着工、同年11月16日に完成しました。そこから遡る昭和53年10月に当時の大門匠会長、副会長、理事、監事など23名からなる柔整会館建設実行委員会が結成され、建設資金など諸々の問題を乗り越え、2年余りの歳月をかけて落成にこぎつけたものです。

以来42年間、途中で内装の改修は行ったものの外壁は当時のままで、天井部分や外壁からの雨漏り、雨漏りによる壁の傷みなどが目立つようになっていました。また、使い勝手の点でも時代に合わない部分が多くなり改修工事を行うこととなりました。



42年間、外壁の改修は一度も行われてこなかった。

柔道場から備品を運び出す。



外壁も美しく、玄関の段差も解消された。

3階からもweb配信が可能に

令和3年10月17日に理事と事務局職員で会館備品の一時的引っ越し作業を行い、10月20日より改修工事が始まりました。今回の改修箇所は、①外壁の補修 ②玄関回り ③玄関内部 ④2階トイレ ⑤3階柔道場を研修室にリノベーション ⑥1階から3階の壁紙の張り替えなどです。すべての工事が完了し、12月12日に理事、事務局職員、本会総務部員が備品や資料、書類などの搬入を行いました。

12月18日には今回の改修で柔道場から生まれ変わった3階研修室で理事会が開催されました。音響設備はもちろんのこと、天井にはプロジェクターが設置され、壁に貼られたスクリーン

用壁紙に大きく映写できます。インターネット回線も配線され3階からのライブ配信も可能になりました。また、新設された収納庫にはベッドなどが収納されており、主に各部会、各委員会、研修会などに使用される予



3階研修室



ココが

変わりました

かつての柔道場は研修室に。
まず最初は理事会で使用された。



玄関ホール

玄関ホールからカウンターが消えてスッキリ。書庫も設けられた。

定です。

6月の構想着手から12月の引っ越し完了まで工事関係者の方々、理事会、事務局職員、部員の方々のおかげでいろいろな問題点が改善され、これからの時代に即した使い勝手の良い会館になりました。

会員の皆様もぜひとも、新しく生まれ変わった柔整会館を積極的に活用して頂きたいと思えます。

事務局職員紹介 よろしく お願いいたします



令和4年4月1日より事務局が新体制に！
目頃お世話になっている皆さんを改めて
ご紹介します。

事務局長 酒井 春味



事務局長という大役を賜りました。至らぬことばかりでご不便をおかけすることも多々あるかと存じますが、任命頂いた責任をしっかりと果たすよう頑張ります。

趣味・特技／ミュージカル鑑賞・裁縫（自分用の赤いちゃんちゃんこ作成準備中）

主任 島垣 望



今年で勤続19年目です。人生の約半分を務めさせて頂き、日々勉強の毎日です。この年月を無駄にせず、少しでも会員の皆様のお役に立てるよう努めてまいります。

趣味・特技／和菓子を食ベること

荒納 由希子



勤めはじめて4年目になりました。大先輩の二人にはまだまだ及びませんが、少しでも会員の皆様のお力になれるよう、日々精進してまいります。

趣味・特技／子どもと公園に行くこと

3人のチームワークを大切に、明るい雰囲気
の事務局にしていきたいと職員の皆さん。これ
からもお世話になります。よろしくお願
いします。



顧問弁護士退任にあたり

40年の歳月を顧みて

～貴会のさらなるご精進を願っております～

弁護士 西 徹夫

昭和55年4月に弁護士登録を終えて開業間もなくの頃、貴会から花を添えて頂くかのごとく法律顧問のご縁を頂戴し、以降40年に亘るご厚誼を賜りました。

たまたま、日本柔道界のアスリートで元世界王者だった湊谷弘氏との深いご縁を機に柔道界の重鎮で医師でもあった木嶋光仁先生のご紹介で、諸種業界の方々のご交誼を得た次第です。そうした中、貴会から法律関係を巡る諸問題への対応を託され、法律顧問を頂く端緒となりました。まず木山時雨先生をご紹介頂いて以後、岩井克良（大学の先輩）、伴庭正盛、さらには清水明、板橋透、木本吉昭の各先生など数えきれないほどの先生方にお会いしました。

ところで、私が貴会の法律顧問を託されて最初の業務は、組織の実体をいち早く理解することだったと思います。その手始めは、石川県青年会館にて開催された定時総会に出席することでした。200名を超える会員が参集し、式次第に沿いながらも若干混乱紛糾気味に進行していたように思われました。当時会長であった赤池信次先生が、組織の一体性を高めつつ、会員の意見集約にご苦労されていた様子が思い起こされます。

今日に至るまで、ご縁を頂いた歴代会長は、赤池信次、久世正次、木山時雨、そして現会長の嶋谷清の各先生です。長きにわたり会長職にあった久世、木山両先生には殊更親交を頂き、幾多のご指導ご教示を仰ぎました。

会務との関わりは、近年はもっぱら理事会・

監事会への参加となっていましたが、従前は各種部会や協同組合の総会等にも出席を要請されたり、法制委員会における各種法規の見直し作業、監修をはじめ幾多の法律問題の検討を託された次第です。また各支部の諸行事や会の記念行事等にも親しく参加させて頂いたことを懐かしく回顧します。全ての会員とあまねくとまでは参りませんでした。川本力雄、川上利昭、山田正徳、橋本大衛の各先生はじめ、実に多くの先生方から公私にわたり多大なご厚誼を頂戴し、忘れ難い思い出を残すことができました。

この度、監事を退任するにあたり会長、副会長及び理事等の執行部各位から翻意を促された次第でしたが、退路の選択をご容赦頂くこととなりました。相監事としてご一緒頂いた山下純二先生には大変なご迷惑をお掛けしました。

思いつくまま色々回顧しましたが語り尽くせません。思い出を手繰り寄せるにつけ惜別の念が募るばかりです。長年にわたる親交が貴会に幾らかでもお役に立っていたならと思うばかりです。

最後に、貴会の更なるご精進と会員及び職員の皆様のご多幸を祈念し擱筆とさせていただきます。



石川県柔道整復師

公益社団法人

5月15日の定時総会で感謝の花束が贈呈された

贈呈者 大門 匠

第28回

石川県柔道整復師協同組合 通常総会を開催

組合員総数／303名
出席者数／ 88名
委任者数／ 137名
欠席者数／ 78名
議長／坂井 秀一組合員

令和4年5月15日(日)午前10時より、石川県地場産業振興センター大ホールにおいて第28回石川県柔道整復師会協同組合通常総会が開催されました。



コロナ禍における組合の対応を報告する橋本理事長。

開会にあたり橋本大衛理事長があいさつを行い、いまだ続くコロナ禍への対応として全組合員に感染予防チェックシートとマスクフレームを送付したことを報告。「協同組合は、組合員同士が互いに助け合う相互扶助の精神で成り立っています。今後ご理解とご協力をお願いします」と締めくくりました。

続いて議長に坂井秀一組合員が選任され、審議が行われました。



坂井秀一議長が議事を進行。



審議を見守る来賓の皆さん。

【議 事】

- 第1号議案 令和3年度事業報告
担当／山崎 一平総務委員長
- 第2号議案 令和3年度決算報告及び剰余金処分案並びに監査報告
担当／木藤 正幸財務委員長
会計報告／田村 修一監事
- 第3号議案 令和4年度事業計画(案)
担当／山崎 一平総務委員長
- 第4号議案 令和4年度収支予算(案)
担当／木藤 正幸財務委員長
- 第5号議案 その他

以上の議事が滞りなく審議・承認され、閉会となりました。



担当理事の議案説明に会場から質問が。

secret spot

あなたの知らない石川県

いつの間にか全国区

気多大社は縁結びの パワースポットだった

ある分野で全国的に有名であるにも関わらず、県民には知られていない場所が石川県にあります。そのひとつが羽咋市の「気多大社」です。能登一の宮として長い歴史を誇る神聖な神社ですが、実は…。

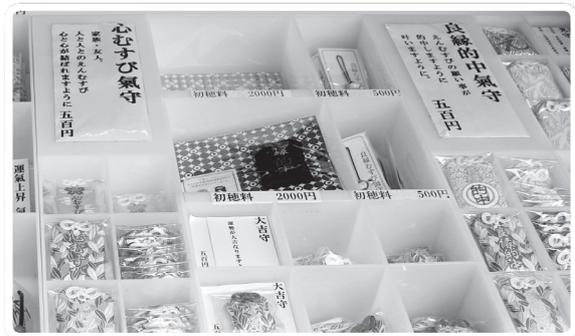
鳥居の奥には海を渡って来る神様を迎える神門が。

恋愛成就の神様だったとは!?

気多大社と言えば初詣の参拝者が20万人！知らない人なんかいるわけがないと思われるでしょうが、実は、気多大社は石川県民の知らない間に「縁結びと恋愛成就のパワースポット」として超有名になっていたのです。

今から20年前の8月のある日、突如、羽咋駅は流行りの髪形をして、肩やら足やらを露出した若い女性で溢れました。一目で地元民でないことが分かる都会的ファッションの女性たちは、ある者はタクシーで、ある者はバスで、そして自分たちの足で歩きながら大行列となって気多大社を目指したのです。その光景にも驚きましたが、後日タクシーの運転手さんに「あのお姉ちゃんたちは、気多大社が関西で“縁結びの日”をテレビ宣伝したのを見て来てたんや」と

「恋」という文字やハート模様が、やたらと目に付く。



「良縁の中お守り」とは！ストレートすぎるネーミング。

聞かされ、また驚きました。「はぁ？気多大社がテレビ宣伝？しかも縁結び？」私はその時まで、気多大社が縁結びの神様だということすら知りませんでした。

気多大社のご祭神は大己貴命(おおむちのみこと)。因幡の白兔で知られる出雲の神様、大国主命(おおくにぬしのみこと)の別名です。出雲から300の神々を従えて、船で能登半島に



江戸時代初期の1653年に建てられた拝殿は国指定重要文化財。



古代の常緑広葉樹林の姿を今に残す「入らずの森」。

渡ったと気多大社に伝わっているそうです。ちなみに大国主命は、人と人、物と人、神と人との良い関係を作る縁結びのご利益があるそうですが、別の本には多くの女神と結ばれたので縁結びの神様になったとも…。一抹の不安が頭をかすめますが、神様のことですから気にしてはいけません。

気多大社は「能登一の宮」として、長い歴史を持っています。「万葉集」にも大伴家持が能登を巡行した際に気多大社を参拝して詠んだ歌が残されています。約3万坪ある境内のうち1万坪は、宮司も入ることの出来ない神聖な「入らずの森」とされ、人間の手の加わらない貴重な原生林は国の天然記念物に指定されています。

毎年3月18日から6日間をかけて七尾市から中能登町、志賀町、羽咋市の300キロの道のりを巡行する「おいでまつり」は能登に春の到来を告げる祭事とされています。また12月には、七尾の断崖で生け捕りにした海鵜を3日間かけて気多大社まで運び翌年の吉凶を占って海に返す「鵜様祭り」が行われ、国の重要無形民俗文化財に指定されています。全国的にも珍しい神事がずっと受け継がれ、能登の人々に親しまれ崇拝を集めてきました。

■ 泰然自若…神様は神様ですから ■

テレビ宣伝の後も気多大社は、ハート型の絵

馬を作り、独身女性を対象とした「裸ぎ体験」を全国から募集したり、元旦の夜に「願い事花火」を打ち上げて集客を図ったり、気多大社で行った結婚式を中継したりと、若い女性に向けて「縁結び・恋愛成就のパワースポット」としての広報活動を積極的に行い、知名度を上げてきました。今では雑誌やネットの「恋のパワースポット特集」などで必ず紹介されるほどです。

ただ古くからの信者の中には、今風のPR方法に「なんだかなあ〜」と感じてしまう人もいたようです。そこへ持ってきて宮司さんの後継者問題から気多大社が神社本庁を脱退、お正月の参拝者数の発表にも名前が載らなくなっていました。神社本庁との間で裁判があったとも聞きますが、地元の間にも何がなんだかよくわからないまま現在に至っております。しかし、もめているのは人間様。神様は神様です。

今から30年前、私が接骨院を開業しようとした年、奥能登から出ていた初詣バスでイヤイヤながら気多大社を参拝しました。父がお金を出してくれて、生まれて初めて拝殿でのお祓いも受けました。開業するのですから「商売繁盛」を願うのが正しいのでしょうか、当時お見合いで連戦連敗中だった34歳の私は、半分ヤケクソで「嫁、嫁、嫁！」と一心に願ったのです。するとなんとということでしょう。その年の6月にカミさんと出会い、翌年の3月にはもう結婚式を挙げてしまいました。それまでのお見合いはなんだったのでしょうか？このようなありがたい個人的体験がありますので、何かあろうと「気多大社には絶対足を向けて寝られない」と思う今日この頃でございます。

あなたの知らない石川県。縁結びと恋愛成就のパワースポット「気多大社」。信じる、信じないはあなた次第です。

トピックス①

各支部が保険講習会を開催 保険の最新情報、業界の展望について

令和3年11月28日(日)から令和4年1月30日(日)にかけて、県内4つの会場で支部会員に向けた保険講習会が行われました。各会場とも受付で検温、手指の消毒、会場でのソーシャルディスタンスの確保などコロナ対策がとられたうえで開催となりました。



真酒谷 清 保険部長

保険講習会のテーマは「医療費の動向について」。真酒谷清保険部長がスライドを用いながら、①医療費の動向(医科と柔道整復師会) ②返戻について ③審査会から

④請求代行業者による複委任問題について ⑤デジタル化(電子請求)によるメリット ⑥コロナリスク～院内でクラスターが発生した場合～ ⑦保険部だよりなどについて、詳しい説明を行いました。

また、ニッ谷剛彦副会長からは保険請求への注意点や石川県柔道整復師会の活動内容など、ここ数年の柔整師療養費請求件数・金額の推移、コロナ禍における本会活動への影響、機能訓練マニュアル作成、会館改修工事、今後の柔整業界の展望などについてお話を頂きました。



ニッ谷 剛彦副会長

各支部とも多くの会員が参加し、熱心に聞き入っていました。講習後は会員との質疑応答が行われ、今後も続くとみられるコロナ禍の中、学ぼうとする会員の皆さんの熱意が感じられる有意義な講習会となりました。



金沢南支部

日時: 令和3年11月13日(土)
午後7時～

会場: 松任総合運動公園
視聴覚室



能登支部

日時: 令和3年11月28日(日)
9時30分～

会場: 七尾市サンライフプラザ第24会議室



金沢北支部・ 金沢南支部合同

日時: 令和4年1月16日(日)
午後3時30分～

会場: ホテル金沢



加賀支部

日時: 令和4年1月30日(日)
午前9時30分～

会場: 小松市第一地区コミュニティセンター

❖竣工から42年が経過した柔整会館の改修が行われた。新築当時に購入したであろう古くて使用できなくなってしまった備品の整理をしながら、先達が心血を注いでこの会館を完成させ、竣工式で喜び合っている写真を周年事業アルバムに掲載したことを思い出した。このとき先達は本会の発展を切望していたことであろう。この思いを受け継ぎ感謝しながら、リフォームされた会館を活用していきたい。(山田 記)

❖広報部になって3回目の「Viva city」の編集に携わることができました。お陰様で広報部の仕事にも慣れてきましたが、改めて思うのは、広報誌の編集はもちろん、広報部のすべての業務においてパソコン、インターネット、SNSなどが絶対的に必要なものになっており、その重要性は年々高まってきているということ。とにかく覚えることは山ほどありますが、地道に頑張ります！(森田 記)

❖年齢のせいか神社仏閣巡りが秘かなマイブームとなっています。印象深かったのはコロナ前に訪れた東山の「宇多須神社」。歴史ある金沢五社の一つなのに、ひがし茶屋街を訪れる外国人客を意識してか境内や床下に忍者の人形が隠れていました。いやいや、それでいいの？おまけにそこで引いたおみくじには「恋愛・あきらめなさい」とありがたい言葉が。いやいや、もっと言い方があるだろう？(中野 記)

❖今年の夏休みは、高速道路を使って旅行する人も多いだろう。高速道路と言えば、SA(サービスエリア)、PA(パーキングエリア)がある。SAは約50キロごとにあり、人や車の休憩に適したサービスを提供している。PAは約10キロごとにあり、ドライバーが安全に走行するために休憩する施設で、明確な違いはない。また、高速道路の外から入れるハイウェイオアシスもある。ちなみに日本初のハイウェイオアシスは、白山市の徳光である。(唐木 記)

❖みなさんは、真っ黄色い蛍光色の毛をもつ毛虫をご存知でしょうか。昨年の10月頃、車のタイヤの一部が黄色く輝いているのを発見。近寄って目を凝らして見てみると一匹の毛虫でした。早速調べてみるとリンゴドクガの幼虫と判明。ドクガとは名ばかりで、毒はなく、毒を持つドクガの擬態だとか。黄色く輝く毛虫、一見の価値あります。(太田 記)

❖先日、山中温泉街を歩いてリフレッシュしてきました。「栢野の大杉」は栢野菅原神社の御神木で樹齢2300年、幹周り約11メートル、高さ54メートル！パワースポットとして有名で、昭和22年に昭和天皇の天覧の栄を賜ったことから「天覧の大杉」とも呼ばれています。「こおろぎ橋」は、峡谷の断崖を通る道(行路)が危険だったため行路危(こおろぎ)と呼ばれたとも、秋の夜に鳴くコオロギに由来するとも言われています。(木藤 記)

❖今回の「Viva city」に掲載された窪田会員の学術研究発表で勉強させて頂きました。足部外傷で治癒も予防にも足のアライメントと動きが重要だと患者さんに話をしたところ、「オシャレも足元からって言うしね」と言われ、「やばい、苦手分野だ！」と内心焦りながら話を広げることなく終息させてしまいました。知識と興味の食わず嫌が多いなと反省するこの頃です。でもオシャレ分野は…。(平林 記)





公益社団法人 石川県柔道整復師会

石川県金沢市広岡2丁目3-26
TEL076-233-2122(代) FAX076-233-2196
E-mail ishiju@spacelan.ne.jp



撮影 能登支部 中野 秀人 会員
使用カメラ:NIKON D7200
レンズ:NIKON18-200mm
絞り:f1/10 露出:1/400秒
ISO:100 焦点距離:135mm

〔気多大社と入らずの森〕

気多大社の後方に広がる「入らずの森」は、古代から神々が宿るとされ立ち入りを禁じられた聖域です。

人間による伐採も行われなかったため、樹齢300年以上のタブノキ、シイノキ、カラタチバナ、オモト、ヤツデなどの樹木が100種類以上自生し、手つかずの自然がそのまま残されています。信仰に守られたこの原生林は1967年、国の天然記念物に指定されています。

撮影はちょうど新緑の時期で「入らずの森」の生命力を撮りたかったのですが、女性やアベックなど参拝者が多くシャッターを押すタイミングが難しかった。